

附属図書館松戸分館がリニューアルオープン

～アカデミック・リンクによる「考える学生の創造」～

令和元年11月3日（日）、千葉大学附属図書館松戸分館がリニューアルオープンしました。千葉大学が掲げる「考える学生」の育成を目指した教育・学習のコンセプト「アカデミック・リンク」が、新たに松戸キャンパスで展開されます。

■ 松戸分館のリニューアル

松戸分館は、今夏竣工した園芸学部F棟にリニューアルオープンしました。昭和38年竣工の旧館を増改築（図書館専有部分の床面積1,016㎡）し、会話のできるアクティブ・ラーニング・スペースや対面型の学習支援デスクを整備することにより、能動的学習の促進を目指す「アカデミック・リンク」が、西千葉キャンパスの附属図書館本館に続いて、松戸キャンパスでも展開されます。

オープン当日は大学祭でにぎわう中、記念セレモニーや見学会・トークイベントが行われ、会場では新たに整備された学習空間への期待が高まっていました。

■ アカデミック・リンク松戸の創設

松戸分館を中核とした「フィールドとコンテンツと学習の近接」により、知識基盤社会を生き抜く「感性に優れた考える人材の創造」を目指して、アカデミック・リンク松戸の設置が計画されました。松戸分館のリニューアルに続き、今後、建物前面の緑地整備（緑のテラス）を計画しており、松戸分館や園芸学部実験施設の複合棟である園芸学部F棟と、松戸キャンパスが有する圃場・庭園等のフィールドが有機的に結合します（令和2年度完成予定）。

整備にあたっては、同窓会や後援会をはじめとする皆さまからいただいたご寄付やクラウドファンディングが活用されます。

■ 学生からの期待の声

- ・図書館が新しくなり、快適な自習スペースやアクティブ・ラーニング・スペースができることで学生生活がより充実していくと思います。
- ・図書館の中を歩きましたが、最高にパワーアップしていました。機能性抜群で、使うのが楽しみです。



リニューアルした松戸分館



テープカット風景（左から小林大学院園芸学研究科長、徳久学長、竹内附属図書館長）



緑のテラス（完成予想図）

■施設のご紹介

2階 アクティブ・ラーニング・スペース



ホワイトボード壁、可動式のイスやテーブルなどが用意された、仕切りのない会話可能な空間です。ひとりでも、グループでも、自由なスタイルで学ぶことができます。

- ・研究資料ナビゲータ

園芸学研究科の教員おすすめの研究入門書や論文を、領域ごとにまとめたコーナーです。

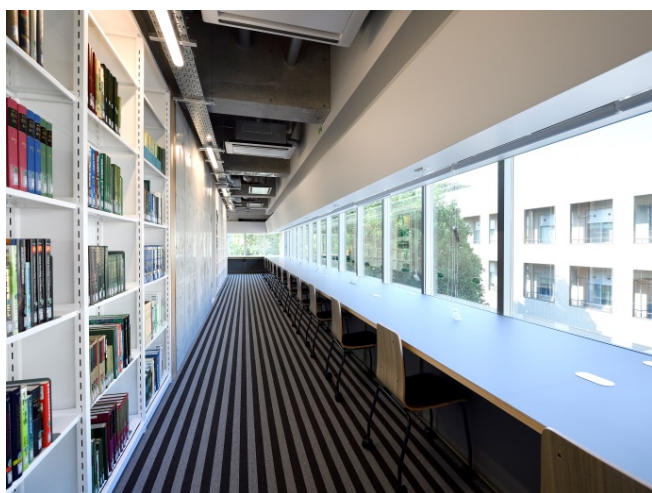
- ・学習相談デスク

園芸学研究科の大学院生が、みなさんの「学習・研究に関する相談」に応じます。

- ・グループ学習室

グループでの学習やディスカッションを行うことができるガラス張りの部屋です。

3階 静寂フロア



資料に近接した静寂な空間です。このフロアには松戸分館が持つ資料の大半が置かれています。すべての席が窓に面しており、西・南側に緑豊かな景色が広がります。

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
附属図書館学術コンテンツ課松戸分館係 野田
TEL: 047-308-8716 E-mail : fbh8716@office.chiba-u.jp